

## 大阪市に於ける幼稚園の沿革

大阪市江戸堀幼稚園長

膳 ま き 子 君

私の申し上げますのは別に研究といふものではありません。長らく従事してゐた事を、時恰も幼稚園令の制定された時にあたり、當時のふんで参りました事を思ひ出すまゝに申し上げます。

大阪に始めて幼稚園の出来たのは明治十二年五月で、丁度時の知事渡邊昇さんが學事に熱心な方で、地方官會議で上京した際、東京に幼稚園があるのをきいて、大阪は商業地だから、子供の頃から正直といふことを叩きこまねばならぬとお考へになつて始められた様であります。東京には、明治九年からお茶の水に幼稚園が出来てゐたので、新しく幼稚園を建てるから、保母を一人よこしてくる様に東京へたのんで来ましたけれど、こちらにもそんなに地方へ出すだけの人物がゐないので「人を遣はす譯にはいかんが、そちらで可然人を見て、見習によこしたらどうか」といつて来たので、西區の小學校の先生をしてゐた、小田さんと堀さんの二人が選ばれて上京したのであります。何しろ汽車のない頃なのでなかなかの騒ぎで、神戸から汽船で遠州灘をすぎ横濱に上陸し、それから汽車でこつちへ来るといふ、

まるで洋行でもする様なものでありました。(笑)お茶の水で一ケ年間見習をしてかへつて十二年五月に開かれたのであります。

其頃、豊田文三郎さんや瀧田さが發企で、日本第一の公立幼稚園を作るといふことで十三年に出来ましたが、渡邊知事の榮轉の爲に廢園になりました。私は十四年十月に見習ひに入つたのですが、今頃の様子とは何にもすつかりちがつてゐるで夢の様です。勉強するにも本がなかつたのです。音楽をやるにも、こつべうし、六絃琴(やまとこと)を使つて、すましこんでとても古風なことをやつてゐました春日さんにゆくと、當時の六絃琴がありますが、實に古雅なものです。(哄笑)其頃「風車」といふ歌がうたはれてゐました。それが十四年でしたか、音楽取調所が出来て、伊澤さんらの手で西洋音楽がうたはれる様になつて、あの「蝶々蝶々……」などが歌はれる様になりました。すると私達には西洋音楽は何だかきやん／＼して軽い様でいけないといつて、盛んに日本音楽をがんばつたことです。其頃から「蝶々」は廢れずにうたはれてゐるものです。(哄笑)

本といつては、關信藏氏の譯した幼稚園記といふのがあつて、何を書いてあるかわけもわからぬながらそれをよんでゐたのです。尤も翻譯も不出來だらうが、今よんでみても、さつぱりわからぬ所もあります。(哄笑)しかし當時はそれをよまんでは保姆の資格がないといふので、わからんなりにわかつた様な顔をしておぼえてゐたのです。それから一つ、桑田信吾さんの幼稚園といふ本が出来て、恩物など

もかつてあつたが、その二つきりで、随分惘然たるものでありました。それが、京都三高の先生の、女子教育學などをよむ頃になると、非常にえらくなつたつもりになつてゐたのです。心理などいふものもなし、今日ならば、檜崎さん野上さんや倉橋先生らの著書が澤山あつて勉強しようと思へばどんなことも出来る様な世の中になりました。前のことを考へると有りがたくて仕様がありません。随分年よりで記憶力もにぶいのでいくら勉強しても人並にはいかないので、ましてやらずにゐては何にも知らん様になるから私は何處へでも會でもあればどんどん出てゆきます。年よりだから私はよけいに出て来るのです。昔のことを思ふと全く有りがたい世の中になつたので、出ていかずに居れないのです。

當時私のおたのはほんとに理想的の幼稚園であつて、庭が五百坪、子供は四十八人、保姆が五人で、随分贅澤なものでした。今頃になつて屋外保育などといつてゐますが五十年も昔は、私共は始終屋外保育をやつてゐました。(哄笑)庭は全部芝生で、日本全國を形どつて富士山があり、四國や九州もあり、近江の琵琶湖は噴水になつてゐました。園藝などでも——當時ははたのあそびといつてゐた——一人當り壘半枚分の畑が四十八人分であつて、鍬や手桶も備へてあつて、そこに茄子を作り、大根を作つて、出来たお茄子はもつてかへつて辨當のおかすに入れて來るといふ調子で、自然に對する趣味なども知らず識らずいてゐたと思ひます。粘土細工をするといへば自然にあるからいくらでもとつて來る、デンデン虫やイナゴなどもすぐに居るので、そんなものを相手に、寒い日か雨の日は室内にゐたけれど、毎

日毎日室外で遊んでゐたのです。十四年の頃には盛に屋外保育をやつてゐました。殊に其當時幼稚園教育に心を向けてゐる人々だから、家庭もほんたによくわかかつてゐて何の困難もなく愉快にやつて來ました。

模範府立幼稚園がなくなつて、今度は別に鴻の池に立てるといふので、どうぞ來てくれとのこととこへいつて、府立幼稚園で無代で借りうけ、氏原さんと私と二人でひきうけてやることにした。どんなにでも、うまくいくと思つて五十人の子供で、月謝二十五錢づゝとつてやつてみました。尤も、金が足らねばいくらでも出してやるとはいはれてゐたものの、自分でやりはじめたものだから一心にやつてみました。所が、小使にやると後には金は残らぬといふ始末で、とうとう、乾物になる迄もやつてみよといふので、(哄笑)二人で小使もやめさせて便所の掃除から何から何迄一生懸命になつてやりました。子供もそれに共鳴して一心にやる様になりました。

それ迄は小學校へは五歳でも四歳でもゆきたいものはいつてもよかつたので、小學校の校長さんものんきなもので、來る者は何歳でもおかまひなしに入れてゐたのが、文部省令が出て、學齡未滿のものは幼稚園でやれといふことになつたので、方々に幼稚園が出来る様になりました。時の文部大臣は大木喬任さんでしたが、私は大木さんが文部大臣では一番えらい人だつたと思ひます。(哄笑)

さうなると毎日毎日、參觀人が大勢やつて來だして、黒羽二重紋附、仙臺平といふいでたちで、子供

の數よりも多い程の參觀人が來るといふ狀況になりました。北區に一つ、西區に一つ公立幼稚園が出來ることになつたが、保母はゐないので、私共は全く、ひく手あまたのはやりつ子になつてしまつて、其時分、野心があつたら、どんなことでも出來てゐたらうと思はれる程にもてたものです。

しかし私共は律義一遍で、世話になつてゐるのだから決してよそへはいかないといつて、氏原さんは北區にゆき、私は、前の幼稚園を立てた人の一部に西區の人々もゐたのでその方にかはつたわけです。兩方共、保母養成をやつてゐました。それから二十六年現在の江戸堀幼稚園が出來たので、私は又その方へいつてずつと今迄ひきつゞいてゐるのです。

年々三月の年度更りが來ると、幼稚園をつぶすといふ心配もあつたものが、今日ではもう非常に認められて、各區の人々が大變熱心に盡して下さつて、かういふ會などには一人でも多く出席さす様にしてくれます。此度も各區の保育會は一致して各保育會から一人宛出席することになりました。

昔のことを思ふとすべて感謝にたまへせん。時恰も幼稚園令が獨立して制定せられた今日、過ぎ去つたことを考へると、全く夢の様です。私は日夜喜んで有り難い心で、働かせていたゞいてゐます。